



# Cisco Intersight 管理モード移行ツールのスタートアップガイド

- [前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Intersight マネージドモード移行ツールのインストール \(2 ページ\)](#)
- [グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した Cisco Intersight 管理モード移行ツールへのアクセス \(9 ページ\)](#)

## 前提条件

このセクションでは、Cisco Intersight マネージドモード移行ツールをインストールするための最小要件について説明します。

- Cisco UCS Manager: 3.2(1d) 以降のサポートされているバージョン。
- Cisco UCS Central: 2.0(1a) 以降のサポートされているバージョン。
- サポートされている ESX バージョン : ESXi 6.0 以降。
- 最小 VM 要件 : 2 つの vCPU、8 GB RAM、100 GB ストレージ。
- OVA で使用される仮想ハードウェア バージョン : 11
- ネットワーク接続の要件 :
  - TCP ポート 443 (HTTPS) (IMM 移行ツール、リリース 1.0.2 以降)
  - トラブルシューティングまたは高度な構成のための TCP ポート 22 (SSH) 。
  - 以下へのアクセスが必要です。
    - DNS (TCP/UDP ポート 53 を使用)
    - NTP (UDP ポート 123 を使用)
    - UCS Manager/UCS Central デバイス (TCP ポート 443 [HTTPS] のみ)
    - Intersight デバイス (TCP ポート 443 [HTTPS] のみを使用)

- プロキシサーバー設定への接続（ある場合）
- 構成を Intersight にプッシュするには、Intersight インスタンスへの HTTPS 接続が必要です。
  - SaaS の場合、URL は <https://www.intersight.com> です
  - アプライアンスの場合、URL はユーザーによって提供されます。

## Cisco Intersight マネージドモード移行ツールのインストール

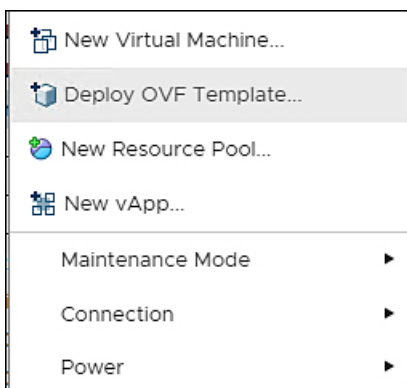
Open Virtual Appliance (OVA) は、1つ以上の仮想マシン (VM) から構成されるビルド済みのソフトウェアソリューションであり、1つのユニットとしてパッケージ、保守、更新、および管理されます。Cisco Intersight 管理モード移行ツール OVA には、オペレーティングシステムがプレインストールされており、IMM 移行ツールの機能に必要なアプリケーション機能が含まれています。OVA としての IMM 移行ツールは、VMware vSphere インフラストラクチャに展開できます。

### 始める前に

- [\[UCS ツール \(UCS Tools\)\]](#) ページから、OVF テンプレートの展開を開始するときに見つけやすい場所にあるコンピュータに IMM 移行 tool.ova ファイルをダウンロードします。

**ステップ 1** HTML5 vSphere Web Client にログインし、**[VM]** タブに移動します。

**ステップ 2** [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから [OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] アクションボタンを追加します。



**ステップ 3** 追加された [OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] ボタンをクリックします。テンプレートの選択を求める新しいウィンドウが表示されます。

## Deploy OVF Template

- Select an OVF template**
- Select a name and folder
- Select a compute resource
- Review details
- Select storage
- Ready to complete

**Select an OVF template**  
Select an OVF template from remote URL or local file system

Enter a URL to download and install the OVF package from the Internet, or browse to a location accessible from your computer, such as a local hard drive, a network share, or a CD/DVD drive.

URL

http | https://remoteserver-address/filetodeploy.ovf | .ova

Local file

IMM-Migration.ova

**ステップ 4** [ファイルの選択 (Choose Files) ] ボタンをクリックし、ダウンロードした OVA ファイルを選択します。

**ステップ 5** [次へ (Next) ] をクリックします。

**ステップ 6** 仮想アプライアンスを展開する場所を選択し、[次へ (Next) ] をクリックします。

**ステップ 7** 仮想アプライアンスの実行に使用するリソースを選択し、[次へ (Next) ] をクリックします。

## Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- 3 Select a compute resource**
- 4 Review details
- 5 Select storage
- 6 Ready to complete

Select a compute resource  
Select the destination compute resource for this operation

- Server [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]
- > [redacted]

Compatibility

✓ Compatibility checks succeeded.

CANCEL BACK NEXT

高度な構成オプションを含むパッケージの詳細を確認します。

## Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- 4 Review details**
- 5 Select storage
- 6 Select networks
- 7 Customize template
- 8 Ready to complete

**Review details**  
Verify the template details.

Publisher	No certificate present
Download size	2.1 GB
Size on disk	5.2 GB (thin provisioned)
	100.0 GB (thick provisioned)

CANCEL BACK NEXT

**ステップ 8** [次へ (Next) ]をクリックして、これらのオプションを受け入れます。

**ステップ 9** データストアのリストから目的の保存場所を選択し、[次へ (Next) ]をクリックします。

## Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- ✓ 4 Review details
- 5 Select storage**
- 6 Select networks
- 7 Customize template
- 8 Ready to complete

**Select storage**  
Select the datastore in which to store the configuration and disk files

Encrypt this virtual machine (Requires Key Management Server)

Select virtual disk format: Thick Provision Lazy Zeroed ▾

VM Storage Policy: Datastore Default ▾

Name	Capacity	Provisioned	Free	Type
[REDACTED]	92.5 GB	973 MB	91.55 GB	VM
[REDACTED]	1.5 TB	1 TB	509.62 GB	VM
[REDACTED]	1.5 TB	1.28 TB	264.34 GB	VM

Compatibility

✓ Compatibility checks succeeded.

CANCEL
BACK
NEXT

**ステップ 10** 各送信元ネットワークのドロップダウンリストから宛先ネットワークを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

### Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- ✓ 4 Review details
- ✓ 5 Select storage
- ✓ 6 Select networks**
- 7 Customize template
- 8 Ready to complete

**Select networks**  
Select a destination network for each source network.

Source Network	Destination Network
VM Network	VM Network

1 items

**IP Allocation Settings**

IP allocation: Static - Manual

IP protocol: IPv4

CANCEL
BACK
NEXT

**ステップ 11** [ネットワーク (Network)] 設定値を入力し、[システムパスワード (System Password)] と [変換されたポリシーのデフォルトパスワード (Default Password For Converted Policy)] と [相互 CHAP 認証のパスワード (Password For Mutual CHAP Authentication)] を設定して、テンプレートをカスタマイズします。

[変換済ポリシーのデフォルトパスワード (Default Password For Converted Policy)] は、変換された仮想メディア、iSCSI ブートなどの UCS Manager ポリシーの既存のパスワードの代わりに使用されます。12 ~ 16 文字で、スペース、タブ、改行を除いた特殊文字を含める必要があります。相互 CHAP 認証のパスワードは、iSCSI ブートポリシーの相互 CHAP 認証に使用されます。これは、変換されたポリシーのデフォルトパスワードとは異なる必要があります。12 ~ 16 文字で、スペース、タブ、改行を除いた特殊文字を含める必要があります。

## Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- ✓ 4 Review details
- ✓ 5 Select storage
- ✓ 6 Select networks
- 7 Customize template**
- 8 Ready to complete

### Customize template

Customize the deployment properties of this software solution.

✓ All properties have valid values ✕

Network		6 settings
Public Network Type		STATIC ▾
Public Network IP		<input type="text"/>
Public Network Netmask		<input type="text"/>
Public Network Gateway		<input type="text"/>
DNS		Enter a valid DNS IP for Static network and enter a random IP for DHCP. The DNS field value is only considered if the Network Type is Static. <input type="text"/>
NTP		<input type="text"/>
Root Credential		2 settings

[CANCEL](#) [BACK](#) [NEXT](#)



ステップ 12 [次へ (Next)] をクリックします。

構成データを確認します。

ステップ 13 [更新 (Refresh)] ボタンをクリックしてシステムを更新します。

VM が中央のウィンドウ ペインに表示されます。

ステップ 14 VM を選択し、[Power On] をクリックします。

ステップ 15 VM の電源がオンになったら、[コンソールを開く (Open Console)] アイコンをクリックして、新しいウィンドウで VM コンソールを開きます。

OVA テンプレートが正常に展開され、VM の電源がオンになりました。

## グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した Cisco Intersight 管理モード移行ツールへのアクセス

ブラウザウィンドウから Cisco IMM 移行ツールのユーザーインターフェイスにアクセスして、移行準備レポートを生成し、UCS ドメインを IMM 設定に変換できます。

ステップ 1 Web ブラウザ ウィンドウを起動します。

**ステップ 2** `http://<VM IP address>` または `https://<VM IP address>` を入力します。VM IP アドレスは、Cisco IMM 移行ツール OVA を展開した VM の IP アドレスです。

IMM 移行ツール リリース 1.0.2 以降は、HTTPS サポートを提供します。すべての http URL は https にリダイレクトされます。

**ステップ 3** [Login (ログイン)] ダイアログボックスに、ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名 : admin

パスワード : インストール時に [テンプレートのカスタマイズ (Customize template)] ページで設定したパスワードを入力します。

**ステップ 4** [サインイン (Sign In)] をクリックします。

ユーザーセッションを終了するには、右上隅のユーザー設定から [ログアウト (Log Out)] をクリックします。

(注) **セッションタイムアウト** : IMM 移行ツール リリース 1.0.2 以降では、非アクティブな状態が 30 分間続くと、セッションから自動的にログアウトされます。アプリケーションを再度使用するには、再ログインする必要があります。

---